

新年の ごあいさつ

会頭
石原勝成



会員の皆さん、明けましておめでとございます。2005年の新春を清々しくお迎えになられた事と思います。昨年は、安城商工会議所の事業・運営に暖かいご理解とご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、我が国の経済環境は、一部では底を打ったといわれ、当地域は全国的にみても若干恵まれてはいますが、多くの中小企業にとっては、まだ回復の実感は少なく、個人消費も低迷しており、未だ自立的な回復軌道に乗れなかった1年であり、明るいニュースとしては、「アテネオリンピック」の話題でありました。政府も小泉内閣が継続され、引き続き構造改革・不良債権処理・デフレ克服等の諸施策は、講じられましたが、依然として、景気回復の不安定要素

は、多くあります。本年も引き続き厳しい状況が続くものと思われま。これに対し日本商工会議所も政策当局に対し積極的な景気対策や、中小企業を中心の金融・税制・雇用対策などを要望している処であります。こうした中、安城商工会議所は、会員並びに小規模事業者に対しニーズにあった金融の斡旋をはじめ、中小企業相談所の経営改善普及事業を中心に事業並びにサービスの充実、又併せて地域の振興を一層図って参りたいと考えております。

昨年は、全国の商工会議所で統一して役員・議員改選が実施されました。当商工会議所も、11月1日より新体制で心新たに事業を推進してまいりますので今後とも役員・議員・会員の皆様のご支援・ご協力を賜りたいと存じます。

又、当面の課題の一つは、街中の活性化で活力を取り戻すこととあります。幸い若い商業者の皆さんが中心となり、商工会議所、安城市を始め各種の市民団体、高等学校を巻き込んだ「まちづくりAnno」で「サテックスフェスティバル」「空店舗対策事業」又、中心市街地の健全なまちづくりを推進する為の「署名活動」等各種のソフト事業を行ってまいりました。商工会議所としましては、その1

つとして将来のハード事業も見据えたまちづくり機関「TMO」を進めてまいりたいと存じます。

所で、この大きな節目を契機に心新たに、ニーズにあつた有意義な事業の推進を図ってまいりたいと存じます。

終りにあたり、今後とも商工会議所の運営につきまして、ご意見、ご提案を頂きますようお願い申し上げます。本年が会員の皆様方にとりまして実りの多い年でありますようご記念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年の ごあいさつ

安城市長
神谷 学



安城商工会議所会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。平成17年の輝かしい新春を迎え、皆さまのご健勝とご多幸を心からお慶び申し上げます。

貴会議所の皆さまにおかれましては、日ごろから市政に対しまして暖かいご支援・ご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、わが国の経済は、企業収益・設備投資の改善や個人消費の増加にみられますように、緩やかではありますがようやく堅調な回復傾向を示し始めました。しかし、中東をはじめとする各国での政情不安など懸念すべき点も多く、確実なデフレ脱却へ向けて引き続き努力が必要な状況です。

また、地方分権の進展や国と地方の税財政改革である「三位

一体の改革」などにより、地方自治体の責任はますます重大になってきています。二十一世紀は地域の選択と責任に基づく地域づくりが求められており、市民参加と協働による「市民が主役の安城市政」を推進してまいります。

昨年は、安城市出身の谷本選手がアテネオリンピックの柔道で金メダルを獲得し、大きな感動を与えてくれました。本市としましても、パレードや祝勝会などを開催し、初の市民栄誉賞を授与するなど、市民の皆さまと共に喜びを分かち合うことができました。施策におきましては、少人数学級の小学校2年生への拡大、児童クラブの開設、追田川・長田川流域の調整池の整備、工業団地の分譲、新設小学校の用地確保などの事業を実施することができました。また、プレ万博事業「地球環境米フオーラム in 三河安城」では、世界各国の大使等をお招きし、国際交流の促進を図ることができました。

本年は、昨年に引き続き「安城リニューアルプラン」に基づき各施策を推進していく所存です。防災面では、小中学校の校舎・市体育館耐震補強工事等、環境面では、浄水場の水力発電施設及び新設小学校の太陽光発電施設の設定等を実施します。

また、高齢化対策では、特別養護老人ホーム建設補助、保健医療対策として休日の夜間診療事業・八千代病院の移転新築事業補助の実施、そして中学1年生での少人数学級の実施など、安心で安全な市民生活の実現のため各事業を積極的に進めてまいります。また、愛知万博の開催にあたり、アメリカ、オーストラリア、デンマーク、コートジボワールの4か国とフレンドシップ事業を市民参加により展開し、各国との友好を深めてまいります。

現在、来る10年間を見据え、第7次総合計画の策定作業を進めており、時代を担う子どもたちが誇りと愛着の持てるまちづくりを、市民の皆さまと協働で築きあげていく所存です。

貴会議所におかれましては、今後とも地域社会の発展にご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、一層のご発展と会員の皆さまのご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



年頭所感

日商会議所
山口信夫



平成17年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

私は、昨年11月に会員各位のご推挙をいただき、引き続き日本商工会議所会頭の任を務めさせていただくことになりました。平成13年7月に会頭に就任して以来、私は、『健康な日本』の創造を提唱してまいりました。この間、わが国経済は昨年4月に日経平均株価が7600円台をつけるなど危機的な状況を経験いたしました。最近になって、ようやく景気は大企業製造業を中心に回復基調にあります。しかしながら、依然としてデフレから脱却できず、我々を取り巻く環境はまだまだ厳しいものがあります。

私は、わが国が直面している様々な困難や課題を乗り越え希望に満ちた日本を築いていくために、これまでのスローガンを

さらに一歩進めて、『健康な日本』のさらなる飛躍へ向けて」とし、皆様と手を携えて邁進してまいりたいと存じますので、本年もご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、わが国の景気は回復基調にあるとはいえ、昨年後半のGDPなど一部の経済指標に停滞感がみられるのははじめ、自然災害の影響や原油価格の高止まり、円高等、先行き不透明感を増しております。日商が毎月行っている早期景気観測（LBO）調査でも、昨年11月の全産業合計の業況D-Iは、4カ月連続で前月水準よりもマイナス幅が拡大しております。また、これまでの景気を牽引してきた輸出の伸びも鈍化しつつあり、米国や中国の海外景気についても、先行きを楽観できない状況にあります。

悪化した景気をたて直すためには、膨大な費用と時間を要することは自明の理であります。経済は、自然科学とは違って実験ややり直しは許されません。従って、ここ1〜2年は景気に最大の重点を置き、せっかく回復しつつある個人消費や企業活力を弱めるような政策には慎重を期していただくことを強く要望いたします。

一方、わが国の大幅な財政赤字の中、少子高齢化の急速な進展に伴う人口減少と相まって、国民の多くは社会保障問題など将来に対して大きな不安を抱いているとともに、日本人本来の価値観が失われつつあります。特に、教育の荒廃、犯罪の多発、それに我々が何よりも大事にしたいはならない家族愛と地域愛の希薄化、伝統文化の寂れなどの現象もあらわれています。

もとより、全企業数の九十九・七％、雇用者数の約7割を占める中小企業の健全な発展なくして、わが国経済の自律的な成長と社会の安定はありえません。大企業の存在も中小企業によって支えられています。その中小企業自身が自ら努力して、本来自分たちの持っているダイナミズムとバイタリティを存分に発揮すれば、私が提唱する『健康な日本』の実現は可能であると確信しております。

我々商工会議所の大きな使命は、会員の大多数を占める中小企業の体質強化とその成長のための環境整備であることを、肝に銘じなければなりません。日本商工会議所としても、各地商工会議所との共催による創業塾や第二創業セミナーをはじめ、産学官連携のさらなる推進、次代を担うビジネスリーダーの積極的な発掘、中小企業の経営支援などに引き続き全力を挙げて取り組んでまいります。また、景気対策のほか、まちづくりや中小企業施策をはじめとする政策提言を引き続き強力に行い、その実現力を一層高めていく所存であります。

他方、三位一体改革など地方の構造改革も本格化する中で、各地商工会議所におかれましては、多様化する会員ニーズにこたえるため、その役割はますます重要となっております。そのため、たとえば地域に住む人が誇りをもてるようなまちづくりを率先して推進するなど、今後は幅広い視野で地域振興に取り組んでいただく必要があると存じます。

地域総合経済団体である我々商工会議所は、時代の大きな変革期にあたり、新しい時代にふさわしい希望に満ちた社会を築いていく中心的な存在にならなければなりません。そして、

会 員 事 業 所 訪 問



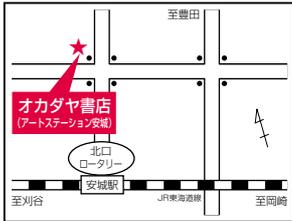
今回紹介する事業所は、JR安城駅北口にある「(有)オカダヤ書店」。

店内にある「アートステーション安城」で絵画のレンタルを扱って今年で15年目。レンタルアートは心の満足が求められる現代に、オフィス・ショップ・お部屋のインテリアとして飾った一枚の絵が、その場の雰囲気と和やかにし気持ちをリフレッシュさせてくれます。

「アートステーション安城」では3ヶ月毎にご指定のところへ、お客様の好みの絵画をお届けします。全作品に損害保険が組まれているので万一の事故

シーズン毎に新しい絵画に出会えます。

(有)オカダヤ書店
(アートステーション安城)



昭和町15-1
TEL・FAX 74-0201

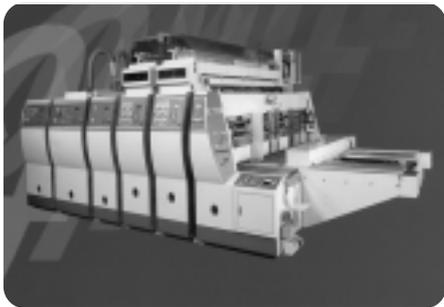
(黒野)

休 日 17時～22時
営 業 日曜・祝日

のときも安心。レンタル料は1ヶ月4000円で、飾って気に入れば購入もでき、利用者にはサルビアスタンプを差し上げます。お申込みは水・木・金曜日の17時から24時、お気軽にご相談ください。

また、オカダヤ書店では市内どこでも本とクリーニングの宅配を行っています。

ビジネスシーンにゆとりを！ ショップのイメージづくり！ 暮らしのなかでさりげなく、素晴らしいアートとふれあひませんか。



▲環境型ジャンボフレキソ印刷機

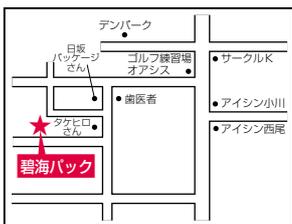
今回ご紹介する事業所は、篠目町から新和泉工場に移って5年目になる『碧海パック(株)本社ダンボール工場』です。

工場内に入ると、あっと驚く印刷機のお化け？幅5m・長さ30mはあるジャンボ機でびっくり仰天。精密なバーコード、QRコード印刷も、高いレベルでの信頼を得ているそうです。

このフレキソ印刷機は中部地区でもまだ数台しかない優れもの。それは色替のインキ回収が全面可能になり、従来型のように大量の廃液を出す事がなくなりました。メーカー自慢の地球

ジャンボカートンから包装改善まで…

碧海パック(株)
ダンボールはリサイクルの優等生！



和泉町北大木4-13
TEL 73-8583(ハコヤサン)
HP <http://www.hekikai-p.co.jp>

(山田)

に優しい最新鋭機だそうです。もうひとつのびっくりは、設計室の壁いっぱいに入ったドラクターのお化け？CADデジタルカッターの活躍です。図面ソフトによってパソコン入力をする、すごい速さでサンプルを切り出していきます。昔は、設計者がカッターナイフで作っていたそうです。

碧海パック(株)では、お客様の視点に立った包装改善を繰り返して提案しています。『日々共育』は会社の経営理念。お客様も会社も社長も社員も家族も『共に育つ』がチームキーワード。共に向き合っていく関係を大切に、価値あるものを日々見つけ出す努力によって、全てが成長を図れる風土を目指していると藤田社長は話して下さいました。



▲CADデジタルカッターと設計サンプル

